



源流ポッチョン

七ヶ宿ダムがある「水源の町・七ヶ宿」を体現しているキャラクター。好きな食べ物は、七ヶ宿源流米やまのしずく、リンゴ、そばなど。

炭酸泉で体の芯から
温まってリラックス

お湯にきれいな炭酸ガスだけを溶かした「人工炭酸泉」



七ヶ宿町

七ヶ宿町字関126
Tel.0224-372117

水守りの郷雄大な自然笑顔になれる景色



七ヶ宿町公式
ホームページ

秋におすすめのイベント

10月下旬
七ヶ宿湖一周ウォーキング



「水源の町・七ヶ宿」の雄大な自然と水の大切さを感じてもらおうと開かれる秋恒例のイベント。赤や黄に色付いた山々を眺めながら七ヶ宿湖畔約12kmのウォーキングが楽しめます。参加は事前申し込み制。

会場／七ヶ宿湖周辺
問／七ヶ宿町観光協会 tel.0224-37-2177



▲小上がリスペースで少し休憩

▶隣の「Book&Cafe こらっしえ」では、生バスタなどの料理が楽しめます



カフェやコンビニなどが集まる七ヶ宿町の「なないろひろば」。100%町の木で造られたバイオマスチップを活用している公衆浴場「Wood & Spa や・すまっしえ」には、ゆったり漬かれる浴槽のほか、お湯に炭酸ガスを溶かした人工炭酸泉、サウナ、水風呂を備えており、リフレッシュに最適。風呂上がりに休憩できるスペースやウッドボールプールもあります。隣接した図書館併設カフェには、ちょっとしたお土産コーナーもあるので、気軽に立ち寄ってみては。



ざおうさま

蔵王の森に住む王様で、一説には1182年の御釜誕生と同時に生まれたとも。とても恥ずかしがりやなので、これまで森の奥でひっそりと暮らしていたそうです。

どれも違う表情で魅了する
奥深い伝統こけしの世界

東北の伝統こけしがずらりと並んでいます



蔵王町

蔵王町大字由田字西浦北10
Tel.0224-332215

柔らかな光と爽やかな風が吹き渡る



蔵王町公式
ホームページ

秋におすすめのイベント

10月上旬
蔵王町産業まつり



蔵王町の農産物生産者や地場産品の紹介・販売が行われ、生産者と消費者の交流を深く感じられます。ステージではコンサートや歌謡ショーなど開催予定。蔵王町の魅力がたっぷり味わえます。

会場／蔵王町ふるさと文化会館（ございんホール）
問／蔵王町農林観光課 tel.0224-33-2215



▲大きな伝統こけしも入れて仲良く記念撮影

▶蔵王町遠刈田こけしまつりの様子



蔵王山麓の豊かな自然と調和したモダンな外観が印象的な蔵王町「みやぎ蔵王こけし館」。1階の展示コーナーでは、東北の伝統こけしと木地玩具5500点を、系統別に分かりやすく展示しているほか、工人が実際に使用している道具や足踏みろくろ、二人びきろくろなどの貴重な資料も紹介しています。ワークショップコーナーでは、こけし工人によるろくろびきの実演も行っており、給付体験にもチャレンジ可能。ミュージアムショップも備え、遠刈田系こけしを中心とした作品を販売しています。



くらりん

耳がソラマメ、しっぽが紅花。どうもろこし「味来(みらい)」のポシェットを下げて村田町のゆるキャラ。語尾に「～りん」とつける話し方もキュート。

往時のにぎわいをしのばせる 店蔵が並ぶ町並みを散策

店蔵と門が一對となり連続する景観が印象的



村田町

村田町大字村田字道6
Tel.0224-832113

紅花交易の栄華をしのぶ蔵の町並み



村田町の
観光案内サイト

夏

おすすめのイベント

6月中旬
そら豆まつり



全国有数の生産量を誇るソラマメの即売会が開かれるほか、熱々の炭火焼きが無料で振る舞われます。毎年、家族連れなどが参加し、人気なのが袋詰め放題(有料)。会場は大いに盛り上がります。

会場・問/道の駅村田 tel.0224-83-5505



▲東北唯一の国際サーキット「スポーツランドSUGO」では、レンタルカーでのお試し走行体験が可能!

▶フルーツコーンとも呼ばれる特産品のとうもろこし「味来」



仙台と山形を結ぶ街道の分岐点にあり、紅花などの取引で商業が盛んだった村田町中心部。その古い蔵の町並みが、重要伝統的建造物群保存地区として現代に地域の歴史を伝えていきます。重厚な店蔵と門が連なる通りを散策すれば、まるで藩制時代にタイムスリップしたかのような感覚に。特に豪商として名をはせた「やましよう」が有した豪勢な店蔵と屋敷などの建造物を見学すれば、当時の繁栄ぶりを肌で感じることが出来ます。店蔵を活用した雑貨店やカフェなどにも、ぜひ立ち寄ってみては。



さくらっきー

頭は町花の桜、顔は町鳥の白鳥、体は町木の梅がモチーフ。大河原町の魅力を広く発信している幸運の花を咲かせる妖精で、町内のイベントなどに出演中。

ブランド豚肉を味わい 日帰り温泉でのんびり

「美肌の湯」とも言われ、肌に優しく染み渡ります



大河原町

大河原町字新南19
Tel.0224-532659

一目千本桜のまちおおがわら



大河原町観光サイト

秋

おすすめのイベント

4月上旬～中旬
白石川堤一目千本桜



町の中央を流れる白石川沿いに樹齢約100年、1200本ほどの約8[㎡]にわたる桜並木が続きます。残雪の蔵王連峰、白石川の清流、鮮やかな桜並木が絶妙な景色のハーモニーを醸し出します。

会場/大河原町金ヶ瀬～柴田町船岡
問/大河原町商工観光課 tel.0224-53-2659



▲「とんとんの丘 もちぶた館」でバーベキュー



▶バベットむすび丸も堪能

ご当地ブランド肉の和豚製品の販売やバーベキューなどが楽しめる大河原町の「とんとんの丘 もちぶた館」本店に隣接する日帰り温泉施設「おおがわら天然温泉いい湯」。古民家風の館内では、源泉掛け流しの湯を木造りと石造りの大浴場と露天風呂で堪能できます(週替わり)。食事処(どろろ)四季彩もあり、和豚もちぶたを使ったバラエティー豊かなメニューをそろえています。予約制で個室も利用可。ゆったりと温泉を楽しむながら会席料理を味わう優雅な時間を過ごせます(予約は2人以上で3日前まで)。

春

におすすめのイベント

3月上旬～4月下旬

みやぎ川崎産寒ざらしそば



極寒の清流にソバの実を浸し、寒風で乾燥させて作った「寒ざらしそば」を町内5店で提供。清流に浸す約2週間、揺すり作業をしてあくを抜き、これを製粉して打ったそばは、のど越しが良く甘味があります。

会場／川崎町内の5店
問／川崎町観光協会 tel.0224-84-6681



川崎町

川崎町大字前川字裏丁175-1
Tel.0224-84-2111



川崎町公式
ホームページ

ふるさとの風薫る

春

におすすめのイベント

4月上旬～中旬

しばた桜まつり



期間中は出店やマルシェ、夜桜ライトアップも行い、一日を通して花見を楽しめます。船岡城址公園名物の片道305mのスロープカーで桜のトンネルを抜けると、山頂からの景色が圧巻です。

会場／船岡城址公園、白石川堤 他
問／柴田町商工観光課 tel.0224-55-2123



柴田町

柴田町船岡中央2-3-45
Tel.0224-55-2123



柴田町公式
ホームページ

「桜の楽園」千年先まで伝えたい桜

夏

におすすめのイベント

6月上旬

支倉常長まつり



伊達政宗公の命を受け、慶長遣欧使節としてヨーロッパを巡った支倉常長を顕彰。慶長遣欧使節を再現した「常長パレード」が商店街を練り歩きます。武将隊の演武や郷土芸能の披露もあります。

会場／川崎町役場前特設会場
問／川崎町地域振興課 tel.0224-84-2117

秋

におすすめのイベント

9～10月

川崎レイクサイドマラソン



複数の種目が用意され、各所にビューポイントのある魅力あふれるコース設定が好評。釜房湖畔を走る「ハーフマラソン」や2人1組でたすきをつないでハーフ完走を目指す「2人駅伝」などがあります。

会場／川崎町内の各コース
問／川崎町生涯学習課 tel.0224-84-2311

秋

におすすめのイベント

9月中旬～10月上旬

しばた曼珠沙華まつり



曼珠沙華(彼岸花)のまつり。45万本を超える曼珠沙華が船岡城址公園を真紅に染め上げます。園内には「赤富士」をかたどった群生スポットや、東北では珍しい白い曼珠沙華も観賞できます。

会場／船岡城址公園
問／柴田町商工観光課 tel.0224-55-2123

冬

におすすめのイベント

12月上旬～下旬

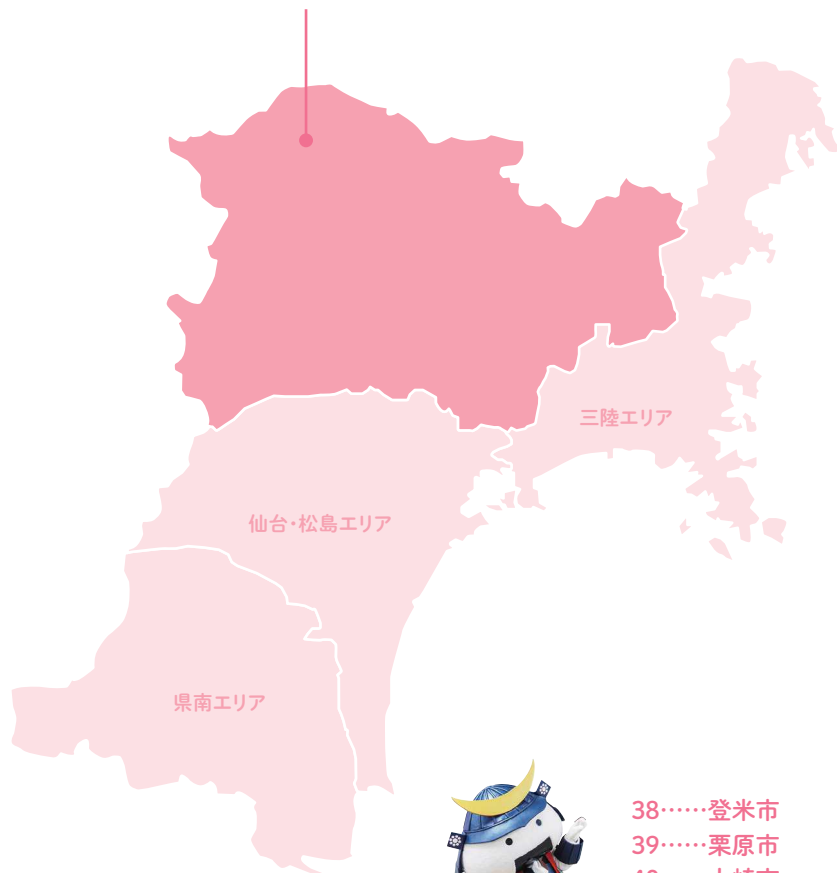
しばたファンタジーイルミネーション



「花のまち柴田」の一年を締めくくるとイベント。船岡城址公園とJR船岡駅前を約20万個の電飾で彩ります。同公園ではライトアップされたスロープカーが運行し、「音と光の演出」を体験できます。

会場／船岡城址公園
問／柴田町商工観光課 tel.0224-55-2123

県北エリア



- 38.....登米市
- 39.....栗原市
- 40.....大崎市
- 41.....色麻町
- 42.....加美町
- 43.....涌谷町
- 44.....美里町

丸森町

まるっと！楽しい！丸森町

Tel. 0224-72-3017
丸森町字鳥屋120



丸森町公式
ホームページ



季節ごとに色を変える阿武隈川で心を癒やす舟旅を

冬はこたつで温まりながら
溪谷美を眺められます



夏 おすすめのイベント

8月上旬 齋理幻夜



蔵の郷土館「齋理屋敷」とその周辺に約1000基の絵とうろうをとします。レトロ感漂う齋理屋敷の雰囲気そのままに、一夜限りの特別な夜の幕が上がります。通りには夜店が並び、にぎわいます。

会場／蔵の郷土館「齋理屋敷」とその周辺
問／丸森町商工観光課 tel.0224-72-3017



▲丸森町観光交流センターに設置されている「猫神様の鳥居」

▶秋は紅葉を見ながら芋煮を楽しめる「いも煮舟」



名勝・奇岩が多い阿武隈川の溪谷を屋形船に乗って満喫できる「阿武隈ライン舟下り」。観光交流センター出発で約11キロの船旅を楽しむ約70分の「周遊コース」と、阿武隈急行線あぶくま駅出発で観光交流センターまで下る約60分の「あぶくま駅コース」の2コースがあり、廻石（めぐりいし）や弘法の噴水、聖観音菩薩といった見どころを巡ります。春は新緑、秋は紅葉など四季折々の雄大な景色を満喫でき、秋には「いも煮舟」、冬には「こたつ舟」なども楽しめます。

※休業／月曜（祝日の場合は翌日）



ねじりほんによ
栗原市のマスコットキャラクターで、この地域の田んぼで見掛ける刈り取った稲を棒掛けて乾燥させる「ほんによ」がモチーフになっています。

企画展などにより栗駒山麓ジオパークの情報を発信しています



栗原市築館業師 1771
Tel 0228-221151



栗原市公式
観光サイト

ぎゅぎゅっとくりはら

栗原市



はっとな
登米市の形をした郷土料理「はっとな」の体に、お椀の帽子、ニンジンのはっぱ、油麴の腕、足はネギ、尻尾はジャガイモとおいしそうな見た目になっています。



肉のようなボリューム感の油麴井(あぶらぶどんぶり)

フワフワジュース=な具の
油麴が絶品の名物井

登米市

迫町佐治字中江 2-6-1
Tel 0220-237331



登米市観光・
プロモーションサイト

夏

おすすめのイベント

7月下旬～8月下旬
伊豆沼・内沼はすまつり

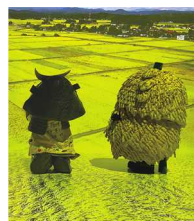


沼一面にピンクのハスの花が咲きそい、船で約20分の遊覧を楽しめます。ピンクと緑のカーペットを縫うように進む船上からの風景を満喫してください。乗船は有料で天候により中止場合があります。

会場／伊豆沼・内沼
問／栗原市観光物産協会 tel.0228-25-4166



▲栗駒山の紅葉は自然の神秘を感じられます



▶超大型スクリーンの映像を観賞

雄大な山並みが連なる栗駒山麓エリアは、2015年に日本ジオパークに認定されました。栗原市の「栗駒山麓ジオパークビジターセンター」では、館内のジオラマや床一面の空中写真などの展示から、栗駒山麓の大地の成り立ちや地形の特徴、生態系、人々の営みを知ることができます。また、2008年岩手・宮城内陸地震をはじめとした自然災害の記録から、防災・減災について改めて考える機会が得られます。シアタールームの400インチ2画面の超大型スクリーンに映し出される迫力の映像も必見です。

冬

おすすめのイベント

12月第1日曜
日本一はっとなフェスティバル



登米市のもう一つの郷土料理「はっとな」。小麦粉を水で練ってゆで、スープに入れたり、あんこに絡めたりして味わえます。約30種のメニューが出品され、はっとな踊りやよさこい踊りのステージもあります。

会場／迫中江中央公園
問／実行委員会(登米市観光物産協会)
tel.0220-52-4648



▲おいしい油麴井にうっとり

▶特産品のみそを使った「みそアイス」



冷蔵技術がなかった頃、登米の豆腐屋が考案したと伝わる「油麴(あぶらぶ)」。小麦粉のタンパク質成分のグルテンを油で揚げた麴で、香ばしく弾力があるのが特徴です。その油麴を使って、旅館のおかみが考案したのが「油麴井」。肉が苦手な人のために生み出したメニューで、カツ井のカツの代わりに油麴を使用し、そのおいしさが地域一帯に広まりました。油麴にたっぷりとした汁を吸わせて玉子と絡め、ネギの風味とともに味わうこの井料理は、まちおこしイベントなどを通じて、今や全国的な知名度を誇ります。



活平くん

色麻町に伝わるカッパ伝説ゆかりのキャラクター。その名の通り活発で陽気な性格なので、妹の麻子ちゃんと一緒に町の行事に楽しく参加しています。

地元で愛される温泉施設でのんびりリフレッシュ時間

色麻町の景色と透き通った空気を楽しめる露天風呂



色麻町

色麻町四筆字北谷地41
Tel.0229-65-2128

緑豊かな自然がいっぱいかっぱのふるさと



色麻町公式ホームページ

夏

におすすめのイベント

7月 かっぱのふるさと祭り



夏の一大イベント。地域を元気にする多彩な催事内容で来場者を迎えます。このたび新調し、3代目となる町のマスコットキャラクター「活平（かっぺい）くん」も登場。みんなで会に行きましょ。

会場／色麻町役場前広場
問／実行委員会（色麻町企画情報課）
tel.0229-65-2127



▲色麻ブランドの特産品「えごま」

▶一息つく活平くん



船形連峰を間近に望む地にあり、色麻町民の憩いの場としてはもちろん、日帰り温泉施設として町外からも多くの利用者ににぎわう「色麻町平沢交流センター かっぱのゆ」。アルカリ性の源泉掛け流しの湯は、まろやかで肌に優しく、保温保湿効果も期待できます。船形連峰を望む露天風呂が特に人気。時間を忘れてじっくり入浴すれば、心身ともにリフレッシュ。100畳の大広間や食事処（どころ）など、温泉以外の施設も充実しています。毎朝、地元の新鮮な食材が届く農産物直売所「平沢穀菜センター」も多くののにぎわいます。



パタ崎さん

大崎市に飛来するマガンの男の子でシベリア出身。大崎の魅力をたくさんリュックに詰め込んで、大崎はもちろん日本中をパタパタ飛び回っています。

大崎の名産が集まる蔵で巨大な釜神様がお出迎え

醸室のシンボル「釜神さま」



大崎市

大崎市古川七日町1-1
Tel.0229-23-7097

宝の都・大崎



大崎市公式ホームページ

秋

におすすめのイベント

9月 政宗公まつり



伊達政宗公が青年期を過ごした岩出山のまつり。メインイベントの武者行列は1000人以上が参加し、政宗公が兵を率いて岩出山から上洛したときの様子を再現します。すずめ踊りなどのステージもあります。

会場／岩出山南町商店街通り 他
問／政宗公まつり協議会
（大崎市岩出山総合支所地域振興課）
tel.0229-72-1215



▲パタ崎さんグッズを紹介するパタ崎さん

▶国道47号沿いにある、道の駅「あら伊達な道の駅」で少し休憩



大崎市観光物産センター「Dozo」土蔵は、同市中心部にある古い酒造の建物を利用した商業施設「食の蔵 醸室（かもろ）」内に開設され、地元の特産品や工芸品のショッピングを楽しむことができます。この地域自慢のお米はもちろん、地酒や発酵食品、郷土料理のしそ巻き、鳴子こけしなどバラエティー豊かな品そろえて、思わず目移りしそう。同市公式キャラクター「パタ崎さん」の公式グッズも多彩に取りそろえ、ここにしかないものも。ふわふわで、ずっと触っていたい！見た目もキュートなふもふもパタ崎さん（ぬいぐるみ）が人気商品です。



城山の金さん

涌谷町の町花である“さくら”がモチーフの観光PRキャラクター。日本初の産金地であることにちなみ、ゴールドの袴(かみしも)を羽織っています。

「天平ろまん館」では、砂金採り大会や企画展示会なども開催されます



涌谷町

「黄金九百両の里」へようこそ

涌谷町字新町裏153・2
Tel.0229-43-2119



涌谷町公式ホームページ

春におすすめのイベント

4月第3日曜
東北鞍馬競技大会



東北各県や北海道などから力自慢の馬30頭ほどが出場。階級ごとに異なる重りをそりに載せ、全長120mのコースを全力で駆け抜け、タイムを競います。人馬一体の迫力あるレースに、観客から歓声と拍手が沸き起こります。

会場/城山公園下の江合川河川敷特設コース
問/涌谷町まちづくり推進課 tel.0229-43-2119



▲わくや万葉の里ならではの土産も購入可能

▶「天平ろまん館」に隣接する黄金山神社



奈良時代に金の採掘が盛んに行われた、国史跡である涌谷町「黄金山産金遺跡」。その歴史を展示資料や体験メニューなどで楽しく学ぶことができる場が「天平ろまん館」です。常設展示では、東大寺の大仏に鍍金(とくごん)した金を産出した陸奥国小田郡むつこのくにおだぐん)の歴史を紹介。大仏開眼を描いた平山都夫氏の陶板画も掲示されています。また、浅いお椀(わん)状の容器を使う「椀がけ法」による砂金採り体験も人気。採取した砂金は、小さな容器に入れてアクセサリなどにして持ち帰ることが可能です。



かみーご

パッパのような髪型をした虎の子で、加美町公認キャラクター。同町観光PR担当係長心得として、加美町のにぎやかな場所に出没しているとか。

人気キャラが生まれた創作活動の現場を再現

人気漫画「ぼのぼの」をより楽しめるスペース



春におすすめのイベント

はつうま
4月29日
初午まつり 火伏せの虎舞



哀調を帯びた笛の音と勇壮な太鼓のおはやしに合わせ、山車とともに虎が練り歩き、各家の防災や家内安全を祈願する伝統行事。県の無形民俗文化財に指定され、毎年、大勢の見物客が集まります。

会場/中新田花楽小路 他
問/初午まつり実行委員会(加美町産業振興課)
tel.0229-63-6000



▲「ぼのぼのベンチ」は中新田図書館周辺の商店街にも設置されています

▶ぼのぼの館は町の中新聞図書館内で楽しめます



漫画やアニメ作品などで、子どもも大人も幅広く魅了している「ぼのぼの」の作者、いがらしみきお先生は加美町出身。この人気キャラクターが生まれた背景や作品の魅力に触れることができる「いがらしみきお ぼのぼの館」が2022年3月、加美町中新田図書館の一角にオープンしました。目玉は、いがらし先生の寄贈品によるリアルに再現された仕事場で、「忍ペンまん丸」などの漫画も多数設置されています。引き出しにも先生の愛用品が詰まっています。描き下ろしイラストや原画も展示されており、ファンの聖地になっています。

加美町

Confident in Kami Town

加美町字西田3-5
Tel.0229-63-6000



加美町公式ホームページ



故郷に帰ってきた心地で ログハウスの休日を満喫

開放感たっぷりのログハウス



秋におすすめのイベント

9月 美里町北浦梨フェア



旬を迎える9月に開催。フェア期間中は町内外の飲食店や直売所で北浦梨を使ったメニューや商品が提供され、町の特産品が当たるスタンプラリーもあります。町内の梨農園では梨狩りも楽しめます。

会場／町内外の北浦梨販売店や飲食店 他
間／美里町産業振興課 tel.0229-25-3329



▲客室は全て一戸建てで貸し切り

▶安産の神様として知られている「山神社(やまのかみしゃ)」は町の象徴的な存在



世界農業遺産に認定された大崎耕土の広大な田園風景を背景に、木のぬくもりに包まれるような滞在が楽しめる「美里町交流の森・交流館 でんえん土田畑村(とたはたむら)」。星座の名前が付いた4棟のログハウスと、研修棟、会議室や食事会場となるメイン交流館が利用できます。食材を持ち寄ってバーベキューをしてもよし、身体一つで集まりスポーツ合宿所や宴会会場に使うもよし。ここでの過ごし方は自由。近隣の農場で収穫体験などにチャレンジするのもお勧めです。田園生活を楽しんでみて。

美しい里 美味しい里 癒しの里
美里町
美里町牛飼字御蔵新田 93-4
Tel. 0229-25-3329



美里町公式
ホームページ